

2022年2月15日
物語りラボ ナレッジハンター 吉野 均

PMAJ SIG 推進部会長殿

SIG 新設提案書（設立趣意書）

1. 新設提案 SIG 名

「PM ノウハウ継承研究会 SIG」（略称：『ものがたり』研究会）

2. 提案者(発起人)

宮田 一雄（ハンプル・マネジメント 代表）

藤森 正晴（PMAJ 副理事長）

廣瀬 守克（技術士（総合技術監理部門，情報工学部門，経営工学部門））

吉野 均（物語ラボ ナレッジハンター）

※メンバーは今後募集

3. 活動の目的

困難な課題を解決したプロジェクトには、卓越したプロジェクトマネジメント (PM) の知恵・力が発揮されている。ただ、卓越した PM の知恵・力は、属人的かつ一過性のもので、組織の知とならず、先達の引退と共に消え去っているため、同じ様な失敗を繰り返す事例が見受けられる。各組織では、この課題解決のために、様々な方法により PM ノウハウ継承に取り組んでいる。

当研究会では、その方法の一つである『ものがたり』を研究する。『ものがたり』とは、PM ノウハウの継承に役立つ目的を持ってプロジェクトの実践を『ものがたり』形式で見える化した経験の記録のことを指す。

- 当研究会では、各組織に残された未だ知られていない『ものがたり』を互いに持ち寄り、磨き上げ、様々な分野に適用可能な卓越した PM の知恵・力として新たな『ものがたり』に再整理する。
- さらに誰もが『ものがたり』を活用できるようその成果物を出版等の形で広く公開することを目的とする。

4. 活動内容（研究対象とする『ものがたり』）

まずは、発起人が用意した『ものがたり』の利用を予定している。これは、ミッションクリティカル分野のお客様 IT プロジェクトで発揮されたベンダーの PM の知恵・力を伝える『ものがたり』である。この『ものがたり』について、SIG メンバーの経験・ノウハウを加えてより素晴らしい『ものがたり』を作っていく。

さらに、SIG メンバーが持っている経験・ノウハウを持ち寄って、新たな『ものがたり』の創作にも取り組む。

※ 経験・ノウハウ等の情報収集にあたっては、企業機密保護の原則に抵触しないよう留意する。公開されている情報についても、研究会の成果物に引用し出版あるいはインターネット上に公開等行う場合には著作権者の了解を得ることとする。

5. 活動成果の PMAJ へのフィードバック

次のような方式を想定する。

- ①活動状況、中間成果短針などの PMAJ ジャーナル、オンラインジャーナルへの発信
- ②同じく、月例会での発表
- ③ある程度まとまった活動成果の年次 PM シンポジウムでの発表
- ④活動の節目ごとの活動報告書の作成

6. 活動期間

まずは 2 年程度を想定する。

7. メンバーの募集方法と運営ポリシー

(1) メンバー募集方法

- ・ PMAJ HP を通じての公募と SIG メンバーとなった方の紹介
- ・ 当研究会は、2022 年 4 月の立上げを目指す。但し、相応な SIG メンバー数と対象分野のバリエーションが揃ったと判断できた時点で正式に立ち上げるものとする。
- ・ 当研究会は、PMAJ 法人会員の所属の方および PMAJ 個人会員の方によって構成される。非会員の方が体験的に参加することは可能だが、会合に数回参加した以降も継続参加を希望する場合は、PMAJ 個人会員に入会していただくものとする。

(2) 運営ポリシー

- ・ 当研究会の運営者は、発起人から選定しますが、希望者は誰でも運営に参加できる。
- ・ SIG 会合は月 1~2 回程度、1 回 2 時間程度とし、メンバーで合意した時間帯に開催する。会合は PMAJ または SIG メンバー企業の会議室、あるいはオンラインで実施する。
- ・ 折に触れて SIG 外の知見のある方を招いてご意見を頂く機会も設ける。

(3) 参加いただきたい方

- ・ PM ノウハウ継承に課題を感じられている方
- ・ 品質向上や PJ 成功率の向上に関心をお持ちの方
- ・ PJ 遂行や PM 人材教育に悩みを感じている方
- ・ 実践的な PM ノウハウをより高かめたいと考えている方

8. PMAJ にとってのメリット

- SIG 活動の成果物は PM 実践における暗黙知を具現化・見える化するものであり、SIG 参加者に限らず、PMAJ に集う PM 関係者のスキル向上に大きく貢献する。
- PMAJ 会員が有する PM に関して継承すべき経験・ノウハウを集約する場となるとともに、このような SIG の存在により PMAJ の会員獲得への PR 効果が期待できる。

9. 予算措置

別途検討

以上